

第658回番組審議会報告

2021年5月11日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 鯨岡秀紀委員 太平信恵委員
津村記久子委員 細見良行委員 増山実委員

■毎日放送出席者

三村社長、梅本専務、虫明常務、高山取締役、磯澤取締役、藪内取締役、
岸本制作スポーツ局長、末次スポーツ担当局長、市村スポーツコンテンツ部長、
八木プロデューサー、赤澤営業開発副部長、津田コンプライアンス局長、
中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組「卒業RECORD #ソツレコ」

(2021年3月28日(日)12:54～14:24 放送)

について意見交換した。

【番組概要】

『卒業RECORD #ソツレコ』

コロナ禍における2020年、部活に青春を捧げて来た高校3年生たちをこのまま卒業させていいのだろうか？という思いから、コロナで苦労している学生が学生最後の競技を体験できる大会「卒業RECORD #ソツレコ」を開催。大会は「走る」「投げる」「跳ぶ」種目を、競技の枠を超えて高校3年生ならだれでも参加できる「高校3年生の最後の日本一決定戦」として行い、大会に臨む高校生の姿を特番として放送した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 高校生が厳しい環境の中で頑張る家族や友人に感謝という純粋なエピソードが、視聴者にも共感を得られる内容だった。帰宅部の生徒が勝って、すごく引き込まれるような感じでよかった。
- * とても面白く、感動した。コロナで高校生も制約があって、いろんな行事がキャンセルになったりする中でよくこの番組を作ったと感心した。緊急事態宣言の中でもやもやしていた気分が、この番組で救われたような気がした。

- *番組を見る時期にもよるが競技後にマスクなしで生徒たちが抱き合ったり、身体に触れたりする度に、どうしてもヒヤヒヤしてしまう。
- *濱家さんのコメントが実感のある、視聴者でスポーツが好きな人の気持ちを代弁してくれるような感じがした。一つ一つのコメントがすばらしかった。
- *MBSの番組作りはすごく部活的な乗りというか、学園祭的な乗りがあるかと常々感じていたが、この番組はそのDNAが脈々と息づいているような気がして、本当にMBSらしい番組だとすごく感心した。
- *帰宅部の生徒に関する情報が何もないので、この番組は帰宅部という記号としてしか扱ってないなという印象を持ってしまった。
- *陸上部の生徒ではなく、帰宅部の生徒がトップをとったことを励ますのはスクールカースト的なものを揺るがすような可能性があって高く評価したい。
- *司会者の人たちが「帰宅部が勝ってくれたらすごい番組になると思っていた」「プロデューサーが一番喜んでる」と話していたことに強い違和感を感じた。
- *タレントの福士蒼汰さんがステージの上から生徒たちにメッセージを送るところで終わっているがこの番組の主役はタレントじゃなくて高校生たちだと思うので、高校生たちがカメラの前で一言ずつ、きょう1日の感想を言って帰っていくとか、今回参加した生徒174人全員が主役なんだというのを全面に押し出してほしかった。
- *ライブ配信ではすごくたくさんの方が見られたということだが、そういう情報を番組の中に入れてもいいんじゃないか。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- *コロナ対策の部分で検温とか事前の体調管理も含めて対策をとって臨んだが開会式の時に密になっていたあたりは配慮が必要だった。
- *帰宅部の生徒が勝った競技に関しては、もう少し真摯に高校生に向き合う演出ができた部分だと思った。

*ライブ配信で全種目、トータル8時間近く生中継を行っていて、そこで全選手紹介をしたという気持ちになってしまい、ある程度、個人の思いを表現したという前提に立って番組を作ってしまった。真摯に反省して、次回の番組作りに役立てたい。

以 上